



『どうぶつのおやこ』

藪内 正幸／画
福音館書店(E-ヤブウ)

ねこの親子、くまの親子、きりんの親子…。子どもたちの大好きな動物の親子が写実的に描かれている、文字のない絵本です。動物たちに呼びかけたり、おはなしを作ったり、自由に読んでみてください。

その他のおすすめ本

『ぴょーん』

まつおか たつひで／作・絵
ポプラ社(E-マツオ)

『がたんごとんがたんごとん』

安西 水丸／さく 福音館書店(E-アンザ)

『ぶうぶうぶう』

おーなり 由子／ぶん はた こうしろう／え
講談社(E-ハタ)

『たまごのあかちゃん』

かんざわ としこ／ぶん やぎゅう げんいちろう／え
福音館書店(E-ヤギウ)

『くつついた』

三浦 太郎／作・絵 こぐま社(E-ミウ)

『でんしゃくるかな?』

きくち ちき／作 福音館書店(E-キチ)

『ゆめにここにこ』

柳原 良平／作・絵 こぐま社(E-ヤキ)



『くだもの』

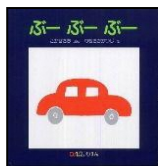
平山 和子／さく
福音館書店(E-ヒヤマ)

あかちゃん えほん① 【0歳～】



切る前の丸ごとの形と、食べやすく切った後の形とで、交互に描かれたくだものがとってもおいしそう! 「さあ どうぞ」の言葉に、思わず手をのぼしたくなります。最後は自分でバナナの皮をむけるかな?

シリーズに『やさしい』『おにぎり』『いちご』があります。



『ぶーぶーぶー』

こかぜ さち／ぶん
わきさか かつじ／え
福音館書店(E-ワキサ)

赤い自動車は「ぶーぶーぶー」。青い自動車は「ぷーぷーぷー」。大きい自動車も「ぶわーん」とやってきます。

カラフルな自動車がそれぞれの音を鳴らしながら、次々と登場します。読んでいるうちに、子どもたちも思わず「ぶーぶーぶー」。

令和8年4月
編集発行:福島市立図書館(Tel. 531-6551)

【福島市立図書館】

○開館時間

午前9時30分～午後7時
(日曜日・祝日は午後5時30分まで)

○休館日:火曜日、館内整理日

○おひぎにだっこのおはなし会
毎月第3木曜日 午前10時30分～

○あかちゃんタイム
毎月第2・3木曜日、第2日曜日
午前9時30分～12時

【福島市子どもライブラリー】

○開館時間

午前9時30分～午後7時

○休館日:火曜日

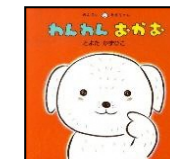
○おひぎにだっこのおはなし会
毎月第1木曜日・第3日曜日
午前11時～

学習センター図書室については、
各館にお問い合わせください。

はじめに

赤ちゃんにとって「生まれて初めてふれる本」は、絵本です。赤ちゃんを膝にのせて、できるだけゆっくり、心を込めて読んであげてください。それが親子のふれあいの場となり、赤ちゃんにとっても幸せな経験となっていきます。

このリストでは、0歳位からの赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介しています。絵だけで楽しむ絵本、赤ちゃんの身近にある「もの」の絵本、わらべうたの絵本…。ぜひ、赤ちゃんにお気に入りの1冊を見つけてあげてください。



『わんわん おかお』

とよた かずひこ／著
アリス館(E-トヨタ)

いぬさんのおくち、ぶたさんのおはな、ねこさんのおめめ。「どーこ?」の問いかけに、動物たちが答えてくれます。赤ちゃんと一緒に指差しをしながら楽しく読めます。

シリーズに『ぷるんぷるんおかお』『まんまるおかお』があります。



『いないいないばあ』

松谷 みよ子／文
瀬川 康男／え
童心社(E-かり)

動物たちが「いないいないばあ」をしています。にやあにやも、くまちゃんも、こんこんぎつねもみんな、いないいない…ばあ。さあ、今度はあなたも、いないいない ばあ！

ぜひ、赤ちゃんと一緒に遊んでみてください。



『きゅっきゅつきゅつきゅつ』

林 明子／さく
福音館書店(E-ハツ)

なかよしのうさぎさん、ねずみさん、くまさんと一緒に、おいしいスープをいただきます。あらら、こぼしちゃった。「きゅっ きゅっ きゅっ」きれいにふいてあげようね。あれ、まだお口のまわりにこぼしている子がいるよ。だれかな？

シリーズに『おててがでたよ』『くつつあるけ』『おつきさまこんばんは』があります。



『もこもこもこ』

谷川 俊太郎／作
元永 定正／絵
文研出版(E-トナ)

なんにもない地面から、もこもこ、によきによき。なんだろう？ ふくれあがって、ぱくつと食べて、ぼろりと落とす。それがまたふくれあがって、ぱちんと弾けて、ふんわふんわ…。

擬音とシンプルな絵で構成されています。自由な想像でさまざまなストーリーが楽しめます。

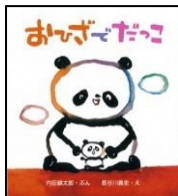


『かぞく』

ヘレン・オクセンバリー／作
文化出版局(E-オケ)

おかあさん、おとうさん、おねえちゃん、おにいちゃん、それから…。赤ちゃんの周りにいる人たちを描いた、文字のない絵本です。

シリーズに『あそび』『したく』『しごと』『ともだち』があります。



『おひぎでだっこ』

内田 麟太郎／ぶん
長谷川 義史／え
童心社(E-ハセガ)

ぼんだのお母さんが赤ちゃんに、おいでおいで、おひぎでだっこ。一緒に絵本をめくりまわります。ためきの親子はぼんぼこぼんとおなかをたたき、ねこの親子はおひぎでねんね、ぞうの親子は一緒にくだものを食べて、ふたりですやすや…。

赤ちゃんをおひぎの上に乗せて読んであげてください。



『ととけっこうよがあげた』

こばやし えみこ／案
ましま せつこ／絵
こぐま社(E-マシマ)

にわたりのこっこさんが「ととけっこうよがあげた…」と歌うと、みんな元気に起きだします。

伝承わらべうたの絵本です。巻末には楽譜も載っているので、子どもたちの目覚めの時に歌ってあげるのもおすすめです。



『ごぶごぶ ごぼごぼ』

駒形 克己／さく
福音館書店(E-コマガ)

「ごぶごぶ ごぼごぼ」
「ぷぷぷ ぷわーん」

青やオレンジの丸が、音と共に大小に変化していきます。

水の中にいるような不思議な音と鮮やかな色。ページには丸い穴も開いており、視覚と触覚を使って楽しめる本です。



『じゃあじゃあ びりびり』

まつい のりこ／作・絵
偕成社(E-マツイ)

自動車や犬、掃除機などの身近な「もの」とその音が、シンプルな絵とはっきりした色で描かれています。

声に出して読んでみたり、「もの」のまねをしてみたり、楽しみ方はいろいろ。

「まついのりこあかちゃんのほん」シリーズの1冊です。